



発行所 平町大町五丁目 新報社
電話 二五五
郵政 郵便 行四〇
電話 二五五
電話 二五五

震動實に四時間

稀有の激震シユウ來

郡下の被害相當甚大

今晩二時三十分頃平地方に近年稀な強震襲ひ侵入ばなを破られて戸外にとび出す者もあり郡下各所に相當の被害があつた、小名濱測候所の観測によれば震動時二時三十一分五十一秒五、震度強震の弱き方性質稍急で最大震幅は三ミリ以上のため同所の計器等は例によつて外れて了ひ不明である、震動継続時間は人体に感したものの三分間程度に記録されたもの實に四時間に及んだ、震央は小名濱を距る百三十八・一キロの海上で金華山南東沖合と見られてゐる、同所の観測によると今回の地震は大正十三年一月十五日以後最も大きいものであつた

當局が氣を配つた

「數割の現状維持」

昨日可決した平町の新豫算

苦しいお臺所の遺線

平町に於ける新豫算町會は昨報の如く委員の増加修正額三十三万八千七百七十圓を満場一致で可決されたが新しい計器として見るべきものは町會の議案設置で同費用償償に六百九十五圓を増加し消防組の要求する自動車ポンプ購入に當り年度支出二千五百圓の臨時計上並に理事者が自ら遠慮された年報額千二百圓の減額案とされたもの其の他七十七銀行に決定した町金庫制度の新設(従来の収入役が事務的に變るもの)及び給水條例の改正等新規計器を含む豫算の實際には數字的に相當の異動を生ずべき筈であるに拘らず町税方面の諸収入に於ては縣稅營業稅附加に七百七十四圓の増額をなせるのみで特別戸數割の一戸平均十六圓六十錢

平町々金庫設置

擔保金五萬圓程度で

七十七平支店を指定

平町ではかねて現金の出納及保管のため町金庫の設置を議論して来たが二日の町會に於て本年度から急よ設置することに決定し事務の簡捷を計ることとなり七十七銀行平支店に金庫事務の取扱ひをなすしむる豫定で之が擔保金額その他につき目下交渉中である、尙担保額は約五萬圓の豫定である

師範二部合格

平町から島島師範二部を受けたる二十六名のうち合格者は左

記六名である
卒業生新妻ツネ、在學生猪狩京子、廣田トシ、橋本テ

第四小學校は

昭和十一年に新築

昨日の町會で正式決定

平町の第四小學校新築問題は正式決定した、一萬五千坪南町方面から既報の如き猛烈の敷地のうち學校敷地は五千坪で他は公會堂建設地、及びの都合上、明年度は既定方針通り第三小學校を増築し第四小學校は昭和十一年度に於て新築工事に着手することとし八年度に於ては字堂根町、三崎町、菱川町、小太郎町に一萬五千坪の敷地を購入この手付金として七千五百圓を支出することに昨日の町會に於

金庫枕に高いびり

例の少年窃盗團首領

また平署へ逆戻り

既報：父母に死別し天涯の孤兒となつて遂に悪心を起し少年窃盗團を組織し郡内を荒し廻り平署に検束された平町南町生れ伊八次男佐藤榮一(二三)は其後引續き同署の保護を受けてゐたが一日深更係官の隙を窺つて留置場便所の窓から逃げ出し行方を眩ましたので八方捜索中二日朝平署前丸新デパート空家の一隅からいび

ラヂオ機検査

仙台放送局では聴取加入者の

小町手を拾ふ

平町大塚肉店雇人塔崎實雄は二日午後三時頃自宅前秋田縣代港町能登炭治振出し平町五丁目九一材木店宛百三十九圓十三錢記入の爲替手形及び安田銀行福島支店振出し

見讀んだ事

大森 勇

こも栗野先生の警句集で讀んだのだが、人を産む時は腹が春來り秋去れども母親の腹線は一向に異状を呈して來たかと思はれる。然し稀には公衆神様の代理をつとめた人

常盤銀行平支店宛二十五圓五十六錢記入の小切手を拾得平署へ届け出た
夏井軍事講演
夏井青年團主催の軍事講演會は三日午後十時半から小學校で開演講師は誠忠會理事白岩玄海氏であつた
内郷校生徒見學
内郷第一小學校本年度卒業生六十七名は十五日平稅務署を見學する
永戸村主婦會
永戸村合戸では二十一日午前九時から小學校で児童學藝會午後主婦會を開催する
街のワラワ
二日の町會費用償償を従來は一人當り一回一圓の割で二十五日分位づつ支給したのを明年度から歳費として年額四十圓に増加することに於て之に對し吉田寅之輔氏から町財政ひつ迫の折から増額する必要なしと反對したが結局大多數で原案可決となつた、町の出費のかさむのには何の彼のと文句をつける議員までも自分の日常の増すのに向ふお構ひなしとはいさゝか虫がよすぎるとは或る傍聴者の語をそのまゝ

捕賊賞與

平署管内綴請願巡査林源松氏は同村大字宮の放火犯人齋藤梅子逮捕の功により三日金一封を賞與された

平町水道委員任命

平町では水道條例改正に伴ひ二日の町會で新たに左の如く委員を任命した
萩原義雄、大森勇、根本品藏、國府田直良、千葉彦治、吉田五平、猪狩庄平、關内正一、花澤亮五、荒川淺次郎、櫻井清

磐中卒業式

磐中學校では七日午前十時から第三十三回卒業式を舉行する、尙本年の卒業生は二百七名である

小町手を拾ふ

平町大塚肉店雇人塔崎實雄は二日午後三時頃自宅前秋田縣代港町能登炭治振出し平町五丁目九一材木店宛百三十九圓十三錢記入の爲替手形及び安田銀行福島支店振出し

見讀んだ事

こも栗野先生の警句集で讀んだのだが、人を産む時は腹が春來り秋去れども母親の腹線は一向に異状を呈して來たかと思はれる。然し稀には公衆神様の代理をつとめた人

産 業 方 向

副 業 の 常 識 (三)

東農大出身 鈴木技師
 而して翌朝は例によつて育雛箱に移すのであるが其の間雛の食滞してゐるものがあるかないかを検べ若し一羽であれば一乃至二時間給餌を遅らせる必要がある、其の回数はいくつか、六回位が適當である、斯うした管理を繰返して十日位を経て天気がよければ一定の時間を定めて雛を外に出して運動させるのである、大概四週間は経ると母子共にうるさがるから分離すべきであるが分離の當時は雛は夕方から寒がるものであるから前の育雛器に充分殺菌等を敷き箱の上部には布の如きものをかけて保温し此の中に寝むらせるのである、而して如何なる場合でも雛が隅に群がり集まらない様に気を付けなければならぬ、分離して親を忘れた雛は日中長さ四尺巾三尺高さ一尺五寸位の框を作つて草の生えてゐる場所待つて行き此れに入れて置けば飼料以外に昆虫や雑草土壌の無機物等を適宜拾つて食ふから丈夫に育ち元氣付くものである、此の框は出来れば一日に二三回場所を換へれば結構である、夕方方の取扱は前と同様である、

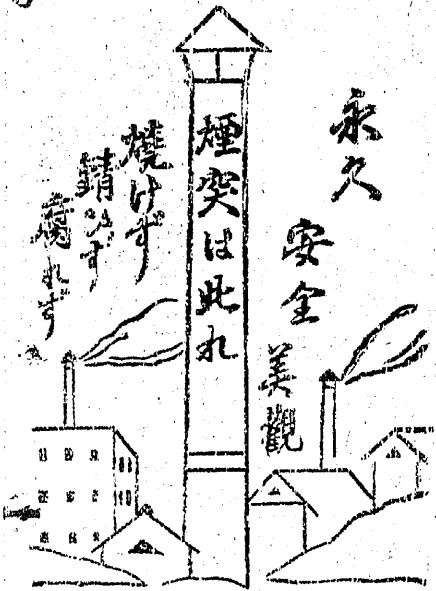
新しくして四五日経れば換羽も終り丈夫になるから心配はなくなる、そして夜間は棧木に習慣付けない以前には矢張り暖かい一室を造つて此れにねかすことを忘れてはならない、

三、人工育雛法

雛を人工的に育てるには母雛に相當する温度を與へなければならぬ其の様式によつて自温育雛法と給温育雛法の別がある

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三屋 平町 田町
 用命は



煙突の御用命は
大谷建材商店
 平紺屋町 電 366

内科 小兒科
大森醫院
 醫學士 大森 勇
 平町南町 (電三五八番)

御旅館 別店 廣告
 平町新川町の新藤屋に申上れば皆様御承知の古い旅館であります、が停車場から遠い不便の地であり、爲に御最良各位に御不自由をかけて居りますので今回隣の直前「元油屋」跡に別店を開業致しました新川町の舊店も從來の通り營業を繼續いたして居ります、財界不況の時局柄大々的の勉強を以て敬待いたします、兩館共に倍舊の御ひびきを御願申上げます
 平町驛前 新藤屋
 電話 五六九番

食堂設備... お好みの設計
 室内裝飾... 製作
 御用命直ちに專屬の技術員を差遣し破格的の勉強でお調べ致します
本 元ほん家具店
 平町三町目 電話三五九番

外科 内臓外科 醫學士 内木 宗八
 産科 婦人科 院長 木村 寅次郎
 平町新川町二九 電話一六四番
木村病院

借金 借金 借金 借金 借金 借金 借金 借金 借金 借金
金屋
 借金 借金 借金 借金 借金 借金 借金 借金 借金 借金
 平町南町 電話一六四番

お客様の御満足頂く迄勉強いたします
カフェー タヒラ
 平町前 電話六二〇番
 女給と當店を愛して下さませ
 そしてこゆつくりと思のままに
 御たのしみ下さいませ 〇〇〇〇

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
 平町大工町 電話五九一番

入院 應 需
藤沼醫院
 電話 五〇七番
佛蘭西料理
 レストラン サロン
 平町田町 電 352

「タスリ」の調合 平町五丁目角
 體 化 粧 品 山 野 邊 藥 局
 溫 計
 郷土生薬の研究
 和漢藥療法の研究
 顧問 藥學博士 柳澤秀吉先生指導
東華皇漢藥研究所
 主任 藥劑士 山野邊東次郎

スペイン GHN 元詰
ゴルフ ポートワイン
 甘味葡萄酒 1.10
 御婦人の方には少々水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
 (平二) 西村屋藥局 (電三)
車手貸
 新規物を格安にお譲も致します
 平町大町若松醫院隣